

かわさきTMO通信

< 毎度おじゃまします・かわさきTMOタウンマネージャーです >

2015年3月号 No.58

- 来街者アンケート速報 (1)
- 来街者アンケート速報 (2)
- 事務局便り

発行元：川崎商工会議所
 発行責任者：会長 猪熊俊夫
 編集責任者：タウンマネージャー 笹原克
 発行日：2015年3月25日
 発行部数：1,000部
 ◆連絡先
 TEL：044-211-4114
 FAX：044-211-4118
 Email：
 sasahara@kawasaki-cci.or.jp
 「まちづくり情報交換誌」を目指しています。タウンマネージャーにお気軽に情報をお寄せください。
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

◇来街者アンケート速報 (1)

今年も東口商店街地区での「来街者アンケート調査」を1月22日(木)の平日と1月25日(日)の休日に実施し、2日合わせて297(平日142、休日155)人の来街者の声を集めることができました。

詳細な報告は、TMO活動報告書において行いますが、ここに速報としてまとめます。

来街者アンケートは、商店街協定の実効性を高めるために継続しており、川崎駅東口商店街への来街者の特性を広く知ることができそうです。調査地点は、川崎銀座商店街、銀柳街商店街、チネチッタ通り商店街の3か所。11時から16時までの間で調査を行いました。

最初に、アンケートに回答をいただいた来街者全体の特性をみます。

■男女別では、男性が34%、女性が64%です。

■年齢別では、70歳代が24%、60歳代が23%、60代以上で概ね半数を占めました。次いで30歳代が16%、50歳代が12%、40歳代が11%でした。

■居住地は、川崎区が48%、川崎市以外の神奈川県内が19%、幸区が

13%、東京都が11%、市内川崎区・幸区以外が7%となります。

概要をつかむと、「女性が6〜7割、年齢は60代、70代が5割、居住地は川崎区が5割、川崎市以外が3割となります。

■来街目的は、「買い物」が46%と過半に近くを占めています。次いで、「食事、飲食」が19%、「映画鑑賞」が9%という順です。

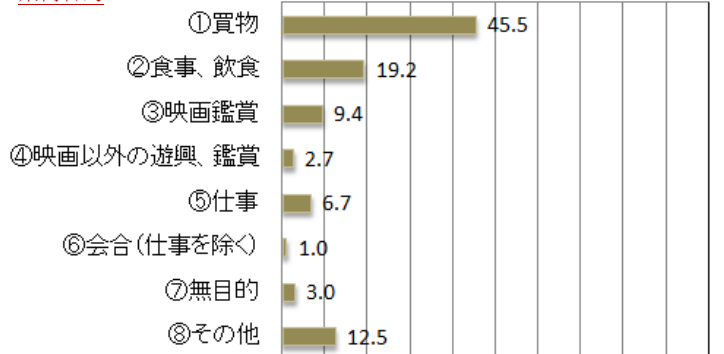
■来街頻度は、「週1〜2回」が30%、「月1〜3回」が20%、「週3〜4回」が18%、「週5回以上」が17%となっています。

■街の魅力は、「交通便利性」が45%、「何でも揃う」が40%、「慣れている」が27%、「価格が安い」が20%となっています。

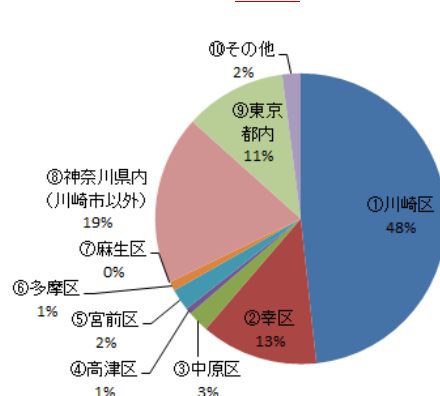
■街の課題は、「ごみ・吸い殻」が26%、「放置自転車」が25%、「風俗店の看板」が14%、「客引き」13%、「治安・防犯」12%、「はみ出し陳列」が11%となっています。

■あるといい施設は、「休憩できる場所」が31%、「歩きやすい歩行空間」が20%、「駐輪場」が19%、「公園」と「駅東西回遊100円バス」がそれぞれ18%となっています。

来街目的



居住地



■どこを改善すればよくなるかに対して「アーケード設置」が19%、「はみ出し看板の撤去」が18%、「はみ出し陳列商品の店内への格納」が15%、「イベント」が13%となっています。

■アクセス方法は、「鉄道」が33%「バス」が30%、「徒歩」が26%、「自転車」が19%となっており、鉄道の内訳は、「京浜東北線」と「京浜急行」が12%、「南武線」が8%となっています。

■街に滞在した時間は、「2〜3時間」が40%、「1〜2時間」が23%、「30分以内」が18%、「30〜60分」が14%となっています。

◇来街者アンケート速報(2)

川崎区在住の来街者と、川崎区以外に居住している来街者との比較をしてみます。

最初に来街目的ですが、川崎区在住者は、「買い物」が57%と6割近くを占めて、次いで「食事・飲食」が17%、それ以外の項目はすべて4%以下となっています。

一方、川崎区以外からの来街者は、「買い物」が36%、「食事・飲食」が21%、「映画鑑賞」が15%、「仕事」が10%となっており、映画や仕事で

の来街が大きく増えており、特徴的な結果が出ています。

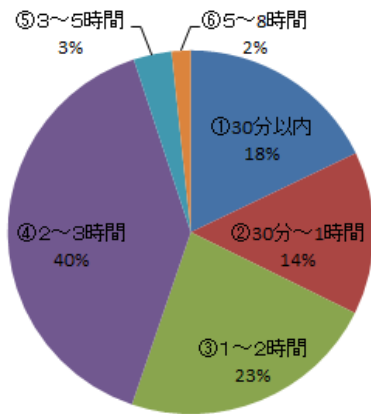
また、**来街頻度**についても、川崎区在住者の場合、「週1〜2回」が34%、「週5回以上」が28%、「週3〜4回」が24%となり、週1回以上の来街者が84%となり、日常的に商店街が利用されていることがわかります。

一方**川崎区以外からの来街者**は、「月1〜3回」が26%、「週1〜2回」が26%、「月1回未満」が23%、と、月に0回から3回程度の来街頻度となります。

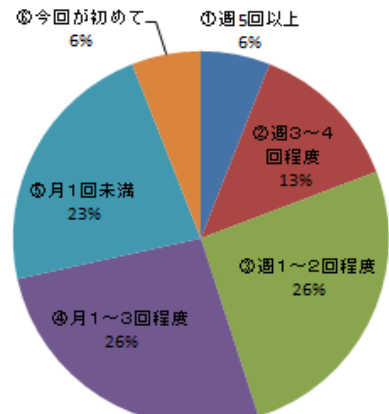
滞在時間も川崎区在住者は、「2〜3時間」が31%、「1〜2時間」が26%、「30分以内」が24%となっています。

一方、川崎区以外からの来街者は、「2〜3時間」が47%と半数近く、「1〜2時間」が21%、「30〜60分」が11%、「3〜5時間」が5%、「5〜8時間」が3%と3時間以上の滞在が8%となり、長時間の滞在となっていることがわかります。

これらアンケート結果のさらに詳しい内容は、TMO活動報告書(平成26年度)に掲載しますので、参考とさせていただきます。



街に滞在した時間



来街頻度(川崎区以外からの来街者)

(タウンマネージャー笹原)

◇事務局便り

第10回イベントサミットが、これまでの最高となる17団体19イベントが参加した今期フェスティバルなかわさきの反省会として、3月5日に開かれました。



多くの団体が集まる利点を活かし相互で備品の貸し借りをを行い、経費節減や保管場所の悩み解消につなげようといった提案も

なされ、今後「貸し出し可能な備品等リスト」を各イベント団体に提出してもらうことで情報交換を行っていくことも決まりました。

ご協賛・ご協力いただきました企業等の皆様、この場を借りて、あらためてお礼を申し上げます。なお、次年度フェスティバルなかわさき実行委員会は5月始動となります。

今号は、平成26年度最終号となります。次年度もかわさきTMOをどうぞよろしく願います。

(事務局 六反友佳里)